



会報●第12号

北陽高等学校

同窓新聞

1991. 9. 28. 発行

編集発行

会報委員会

委員長

藤井 文太郎

ご苦労様 松岡監督

北陽野球部監督として昭和35年～平成2年まで31年間就任し、現在は北陽社会科教諭として勤務中



「北陽野球部と私」

松岡 英孝

今年もまた燃える夏がめぐってきました。ちょうど一年前の夏の大会の後、北陽高校で三十一年間着なれた白いユニホームを脱ぎました。

昭和三十五年の春、大学を卒業し北陽高校の社会科の教師として又野球部の監督として就任してまいりました。そのころから、甲子園に出たいという強い決意を胸に秘めていました。しかし当時はいまのような立派な専用球場はなく、ハス池とドブ川にはさまれた草原のようなグラウンドからの出発でした。又バックネットの後方では阪急電車が轟音を響かせて通過していくので、野球をする環境としては決してよいものではありませんでした。部員も近年は二百名という時期がありましたら、その頃はわずか八名で、大会にはソフトボールのうまい生徒にきてもらい試合をすることもありました。

最初の数年間は、技術面よりも、礼儀作法や帽子のかぶり方、服装やユニホームの着方から始めました。試合も一、二回戦で負けることが多かったものです。当時の最大の目標は全盛を誇っていた竹内監督率いる浪商を倒すことでした。「厳しく激しく苦しく」をモットーに練習～に明け暮れる毎日でした。ついに昭和四十一年夏の大坂大会でその浪商と延長十八回引き分け。再試合でも延長十一回の大熱戦の末、三対二で破り念願の甲子園の土を踏んだのです。第四十八回大会でした。つわもの揃いの野武士的チームでした。監督六年目。明星、大鉄、興国、近代附属、P Lと強豪がひしめく激戦地での初出場だけにその時の感激は生涯忘れないでしょう。三十一年間の監督生活中、練習試合、大会等をいれると

数百回いや数千回の試合があったと思います。しかし、一つとして同じパターンの試合はありませんでした。でも私は一つ一つ思い出します。特に負け試合は憶えています。それだけ勝負にかけてきた人生だったので、悔しさと反省が脳裏に焼きついて離れないからだと思います。三十一年間の試合の中で特に思い出深い試合を挙げるならば、

一、昭和四十五年春の甲子園大会決勝戦で箕島高校に延長十二回サヨナラ負けした試合

一、昭和五十六年夏の甲子園大会名電工の工藤と高木との投手戦（現西武ライオンズ）

一、昭和五十四年秋の大坂大会三位で近畿大会に出場、準々決勝戦で平安高校にサヨナラ勝ちした試合

一、平成二年春の甲子園大会新田高校との十七回延長戦。

まだ～～あげれば沢山ありますが紙面上この四試合をあげました。

このように北陽野球部の伝統ができたのも千三百人を超えるO Bの努力によるものと常に思っています。つたない私の指導のもと、教え子たちは素晴らしい歴史をつくってくれました。

「社会で通用する人に」が私の教師として監督としての指導の根本でした。野球がすべてではない、野球を通じて立派な人間になってもらいたい、というのが私の願いででした。

春六回、夏四回。計十回の甲子園に出場できたのも皆様のご協力と励まし、そして素晴らしい部員に恵まれたからだと感謝しております。

今後共北陽高校野球部をよろしくお願い致します。

新監督 頑張れ!!

大阪の高校球界は強豪、新鋭がひしめき、近年とくに烈しさを加えております。こうした状況の中で昨年八月、松岡英孝先生の後任として硬式野球部監督を拝命いたしました。六十五年の歴史と春夏合せて十回の甲子園出場という輝い伝統を守るべく、その責任の重大さを痛感致しております。コーチとしての六年間に学び得た教訓を

生かし、銳意努力する覚悟であります。

まだまだ若輩未熟者でございますので先輩各位の温かい御助言と厳しいご指導をお願い致します。

新納弘治監督 昭和59年北陽高校就職

平成2年8月母校野球部新監督に就任



母校の現況

(母校校長 林 敏夫) —

同窓の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。皆様の母校北陽にも、昨年からはじまった生徒激減の波がいよいよ押し寄せてまいりました。

◇生徒数の減少

全国的に見て、中学卒業者の数は昭和六十二年と三年が頂点で、翌平成元年度から減少に転じ、特に大阪府では今年度約一万二千人も減りました。この傾向は今後ずっと続き、十年後の高校生の数は現在の約六割になると推定されています。高校生の数は昭和五十四年頃からふえ始め、五十七年の丙午の年を除いて、十年間ふえ続けたのですが、この急増対策として大阪府では公立高校の増設を抑え、その肩代りを私学に求めました。その代りに、急減期には昭和六十二年度の公私収容比率を維持して行く取り決めもしました。その比率は大凡公立七、私立三の割合で、以後この比率でそれぞれ生徒を収容することになりました。この協定を守るために、私学間でも収容目標数が設定され、それに従って、本校では定員を一クラス減の十二クラスとして募集したわけです。ところが、意外にも受験者が昨年よりも百七十名ばかり多い三千三百人余りを数え、定員減と相俟って近来にない難関の入試となりました。結局入学者は五百三十五名に落着きましたが、今年の卒業生が六百三十六名の多數だったこともあって、今年度の生徒数は昨年よりも百二十五名少ない、千七百二十五名となりました。今後は生徒の減少にどのような歯止めをかけるか、これが最大の課題となつています。

◇進路希望別、習熟度別授業

生徒数を確保して生き残るために方策を、今私学はどこでもそれなりに考え、実践していますが、本校も例外ではありません。勿論建学の精神一知・徳・体の調和した人間づくりは堅持してまいりますけれども、近年特に難しくなってきた大学入試の対策を見直し、三年前から段階的に実践しております。先ず「生徒一人ひとりの能力に応じて、その学力を十分に伸ばすこと」を中心に据えて、教員全体の協

力体制をつくり、進路別、習熟度別の授業に移行することにしました。そこで早速英語コース〔英語週十時間〕を設け、他の一般コースでは英語の習熟度別授業をはじめました。それから二年経って今春卒業した彼ら英語クラス四十九名のうち約半数の生徒が関西大、竜谷大、京産大、近畿大々に合格、一応の成果は得られたようです。一方昨年の入試から公募した特別進学コースを除いて、二年からは、文系・理系・英語コースに分かれ、三年からは文系が進学と就職のコースに分かれる仕組みにしました。進路希望に応じて教科配分も随分思い切った課程にしてあります。また、就職希望の生徒には、今年からパソコンの導入によって、情報処理の授業をはじめましたが、さすがに最近の生徒は興味があるらしく、真剣に実習しております。

◇クラブ活動

大学進学等につながる学力増進、軽教育の強化とともに、北陽の魅力を支えるものに活発なクラブ活動があります。昨年はサッカー部が高校総体で三位となりましたが、冬の選手権では大阪予選の決勝で不覚をとり全国大会へ出場することができず、残念でした。その他の部も全国大会出場こそ果たしませんでしたが、ハンドボールをはじめいくつかの部が近畿大会へ出場、相変わらず活動は盛んです。その中で、一抹のさびしさを覚えるのは野球の松岡先生の監督辞任です。実は、昨年夏の大阪予選の準決勝で上宮高校に敗退した日の夜、先生から監督を辞めたい旨の申し入れがありました。監督を丸三十年やり遂げたこの日を機に、後進に道を譲りたいとのこと。私は極力慰留につとめましたが、辞意は固く、健康上の理由もありましたから、結局は監督更迭に踏み切ったのです。三十年の間に夏四回、春六回の甲子園出場を果たし、四十五年には準優勝の偉業をなし遂げ、全国に北陽の名聲を高めた功績は大で、これを記念して野球部史を上梓することにいたしました。なお新監督は北陽野球部OBの新納君が引き継ぎ、松岡先生は總監督の形で残ることになります。因みに、甲子園で活躍した寺前投手は近鉄球団に入団、和田捕手は法政大、宮迫主将は仏教大に進学しました。今後とも北陽の精神野球が大きく開花することを皆様とともに期待したいと存じます。

同窓会本部より同窓各位へ…



◇同窓会各位の近況いかが

古い卒業の各位から今春卒の若い各位に至るまで
2万名に及ぶ同窓の皆さん！

如何お暮していますか。

您々自適の方々を頂点に、ひたすら職業に専念されている方々、病気やけがで病院と深い関係になつていらっしゃる方々など多種多様の御生活が予想されますが、母校も年をとりまして60才を超えました。この60有余年の間に巣立ちました吾々も大成功を収めた方、今収めつゝある方、或は現状のまゝを維持されている方、もしくは失敗、倒産など悲しい現実の中に苦しんでいらっしゃる方など悲喜交々至る人生模様であります。母校も60年の間には戦争の影響をうけて色々な浮き沈みがありました。今は大北陽の面目を保っています。古き時代の母校の教訓「智」「徳」「体」の教えは今も新しい教育の支えとして後輩たちの心に刻み込まれておりますが、如何でしょうか。同窓各位の御生活中にこの教えは尚生きつゝけているので御座いましょうか。

◇同窓会の歩み

阿倍さんを会長に松田先生、麻畠忌（いづれも故人）によって細々と守り続けられて来た北陽同窓会でした。母校も亦戦争直後は無残な姿、丸で廃墟の様な姿となっていましたが、三雲校長（故人）を迎えてから再建の一途を辿りました。ひと握りの生徒数でしかなかったのが、今では1500人の生徒数となり、智徳体の教育活動は活発です。同じ様に同窓会も再建されまして新組織作りを致しました。同窓会の憲法である会則をはじめ規約、規定に至るまで新しい骨組みを打ち立てました。理事会を最高会議として総務、会報、名簿各委員会を設け各々役務を分担して同窓各位との連係を保つために奉仕しています。とりわけ名簿の装備大事業中の大事業でありまして各位の動静を常にキャッチすることに努めなければなりません。同窓各位が一堂に集まって頂く総会は未だ開けずにおりますが、これに代る代議員制を設け、代議員総会を年一度開催しまして大切な案件の承認や議決を求めております。

いづれ近いうちに総会が開けますよう、一層の努力を致すつもりであります。

◇母校と同窓会の相乗関係

母校は学校法人でありまして、学校経営に必要な組織があり、同窓会からも若干名がこの組織に加わっています。

同窓会出身の教職員は現在13名おられまして母校の教育に専念されていますが、この中から交替で同窓会の事務局長として1名派遣されており同窓会事務の処理管理に当つて頂いております。母校を取りまく環境の一つとしてP.T.A.があります。云うまでもなく、P.T.A.は現在時の教育に参与している団体であります。

この外にクラブO.B.会というのもあります。クラブ活動の先輩グループが後輩の活動を助けています。こゝで同窓会各位に申し上げたいことは以上の母校を軸に各種のグループ団体との相乗、相関係についてありますが現実には必ずしも、しっくりいっているとは申せません。何卒同窓会各位の一層の叱咤激励あらんことを望んで止みません。

◇今後のビジョン

何かと云えば「金を出せ」……

残念ながら同窓会本部から皆さんに連絡する場合據金のお願いが主でした。

金を出せと云う程、母校の活動が活発な訳です。金を出せと云わなくなったら母校は何も際立つものがなくなったとも云えます。

今後も各位の御理解を求めて御協力をお願いすることが多いでしょうが、この辺のところ、何卒一層のお含みを賜ります様切にお願い申し上げます。同窓会の今後につきましては出来る限り多くの若い同窓各位の出現を心から待ち望みますと共に

1. 同窓各位の御建議、御意見が活発なこと
2. 金を出すだけではなく各位の心身も出してほしいことを願って止みません。

最後になりましたが「同窓会館」の建設……

これは今後のビジョンでありユートピアであります。
(文責藤井)

杉中幸男君、松村豊の八名、不参加は藤田武雄君宇野実君、中尾喜一君の三名です。八名が出揃った處で昼食を味はい乍らお互いの元気を喜び合った事です。食後は今は亡き恩師矢沢先生、同窓の中田永一君同じく木村勘介君皆さんを偲び乍らの思い出話しながら健康に関する事、時事問題といろんな話題に話がはずみ、時が経つのも忘れる程でした。思へば人の命の果なさをしみ～～と思った事です随分とメ



北陽商一会(第一回卒業)第十二回同窓会

去る七月八日近鉄阿倍野店レストランKYKにて開催、当日の参加者は会長の藤田忠男君、千原勇君、岩永清治君、萱野安太郎君、高山強君、中井勲君、

メンバーが少なくなり淋しくなりました。お話しは仲々終りそうではありませんでしたが予定の時間も残り少なくなりましたので次回は十二月十日に聞く事を決めて又元気で再会を約し閉会致しました。

昭和四年卒 松村豊



昭16年卒業（13回）O・B・同窓会

私達は第5回一六会同窓会を卒業50周年記念大会として、平成3年4月14日大阪梅田エスカイアグラブに於て、東は東京より、西は西脇より18名の多数の参加を得て、PM3:00よりPM6:30迄開催致しました。

当日は、故新川・渡辺氏の令室と故高畠氏の令嬢の出席を辱うし、記念大会にふさわしい有意義な会合となり、終始和気藹々の間に歓談し、盛会裡に終りました。

幹事の苦労を深謝すると共に、次回又元気な菅田での再会を約し散会しました。最後に母校並びに各年度の同窓会及び、同窓会本部の益々のご発展をご祈念申し上げます。

（事務局総務部 辻 豊）



平成3年6月1日 於本むさし会館

昭和二十年卒 毎年クラス会を行える様、互に健康に注意し、長寿に心がけています。



第5回 一六会同窓会 平成3年4月14日 於 エスカイアグラブ西脇田舎 1F

北陽商業学校第15生会同窓会

平成3年5月11・12日 於みのお山荘

恒例の同窓会の総会を開催しました。

東京を始め全国各地より、22名もの多数の出席者がおり欠席者の近況報告もあり旧交を暖め合い元気な姿を慶び一夜を語り明かして楽しく過ごすことができました。

同窓生諸君の不变の御協力に対して厚く御礼申しあげます。

尚、工学博士として世界の学会で活躍され日本の北陽健児としてその名を残された山口大学と近畿大学で終生を人材の育成に精魂を打ち込まれた蒲池一嘉君がこの度叙勲の栄に浴くされました。

死してその名を残された同君の足跡は我々の胸中に深い感銘と感動を遺されたのであります。

痛恨の極み謹んでその御靈に対して深く哀悼の意を表し冥福を祈る次第であります。合掌

母校の益々の発展と同期生諸君の御多幸祈り元気な再開を鶴首致しております。



北陽商業学校第15生会同窓会 平成3年5月11日 於みのお山荘

内田二三男氏（s 23年卒）がアジア太平洋シニア選手権の日本代表として参加され、みごと準優勝されました。

母校 クラブだより

映画研究部

「一度自分たちの手で映画を作ってみよう。」こんな思いを持っている者が集まり活動しているのが映画研究部です。彼らはシナリオを作り、キャストを決め、8ミリビデオを回していきます。そして唯一の発表の場である文化祭に夢とロマンを込めて上映することを最大の楽しみとしています。昨年は「原子力発電」の問題を取りあげました。現在、部員は三年生だけですが、最後の思い出となるような素晴らしい映画を制作中です。

サッカー部

バルセロナへ向けて日本の代表チームもアジア予選を行っている。その中に、山口敏弘(近大二回生)という北陽出身の選手が頑張っている。

今年のサッカー部は、新人部員を60名ほど迎え、二・三年生50名と併にインターハイ予選を戦ったが準々決勝で敗れてしまった。今では新人部員も半数になり、部員総数80名弱で厳しい練習に取り組んでいる。次の目標の、選手権大会に向けて、基本からやり直し、心身共に鍛え直すことを第一に日々努力を重ねている。

一人でも多く山口のようなすばらしい選手を輩出するように努力していきますので、今後とも御協力よろしくお願ひします。

水泳部

我が北陽水泳部は、S56年に全国高校総体に初出場して以来、様々な全国大会に連続出場しています。また、S62年度には全国高校にてリレーで3位入賞をし、平成元年度には個人で念願の優勝を果たし高校日本一の座を手にすることができました。この事は、室内プールの練習場を提供してくれたSCの御協力あってのことである。今後、さらに大きな目標を夢見た時、残念ながら現在の本校の施設、教育条件の中では厳しいと言わざるをえません。

そんな事を思いながらも今日も水泳部は練習にはげんでいるのです。
(監督 石坂喜一)



剣道部

北陽高校剣道部は、「剣道の北陽」と呼ばれた如く、輝かしい伝統を持っています。現在は各学年十名づつ程の部員で構成され、各公式の大会で頑張っています。OBの方々も熱心で、年一回、五月の第二日曜日(以前は二月)をOB回の会と定め、練習に来られて現役の指導をされています。OBと現役の努力で、更に素晴らしい剣道部を創ってみたいで

(顧問 藤川敬三 棒谷啓二)

美術部

本校、美術部は現在コンペ用の幾つかのポスター、イラスト制作に取り組んでいます。昨年度はこのような全国レベルでの各種募集作品展への参加が、皆無に等しく広い場所での各員の作品発表が不十分であったためそのレベル度、習熟度などを自己分析出来ないでいました。しかし、本年度はそのようないろいろな考えも含めて、出来る限り多くのコンペにチャレンジしようと、部員全員気力十分にがんばるつもりです。又、文化祭に於いても昨年度以上に、充実した完成度の高い良質の油彩画、造形物デッサンなどの展示を目指していますので、じゅうぶん期待出来ると思います。

1991、美術部をよろしく!!

(西田末義 山本裕介)

ラグビー部

現在部員数は45名で、毎日泥と汗にまみれた生徒達の姿があり、すべて一つのボールに集中し、たとえタックルされようとも部員は、頑張って練習に励んでいます。そこに忍耐、勇気、礼儀が培われているからです。

(All For One,One for All)の精神で部員一同頑張りますので、応援ほどよろしくお願ひ致します。

(依藤定利)

鉄道研究部

現在部員十一名。夏の合宿旅行と秋の文化祭展示を主たる活動内容として三年生を中心とした運営されている。

昨夏は東北地方を中心に、一部は北海道へ渡り、一部は五能線を南下した。今夏は群馬から長野へ三泊五日の旅行を実行し、主としてローカル線特有の情緒を味わうと共に、土地の風物を観賞し、人々との交流も深めて、その成果を文化祭に展示し、実りあるものにしようとしている。

本部 事務局便り

教職員動静

・新任者

足立紀尚 明治大学文学部（史学地理学科）卒
〒662 西宮市青木町12～9～305
(0798-73-3075)

・加藤弘子 同志社女子大学（英文科）卒
〒572 寝屋川市黒原城内町7～4
(0720-38-6898)

・退職者

森田昭治 平成3年3月31日 退職 本校（商業17回卒）
〒569 高槻市西五百住町14～24
(0726-94-2233)

59年に同窓会第三代事務局長に配属され、3年間同窓会の仕事をされました。同窓会第四代事務局長の角野先生のご不幸があり、森田先生が再度平成2年度より同窓会事務局長に校長より任命されて、平成3年3月まで事務局長の仕事を果たされました。

森田先生は角野先生の残務整理をもの見事に処理されました。本当に長きに渡り同窓会にご尽力頂きました誠に有難うございました。

退職後も森田先生のご健在をお祈り申し上げます。尚、これからも同窓会に協力下さいますよう、お願い申し上げます。

前任の森田昭治先輩の後に、私が今年4月より当同窓会事務局に任命されました。私は初代同窓会事務局長横田寛治先生の折りに、同窓会に配属されたことがございました。当時は花の中年とかで同窓会から離れて、担任の仕事が十年ほど続きました。私も馬鹿を重ねて定年近くなつて、今年の人事移動に校長から同窓会事務局に任命されました。

校長より同窓会の主なる仕事を五つほど上げられましたが、そのうち適任でない仕事はお断りして、微力ながら同窓会の仕事をすることになりました。

佐藤、森田、角野各先輩と一緒に同窓会の仕事をと頼ったこともございましたが、時の流れは無常と申しますか、私一人を置き去りにして母校を去っていかれました。

伝統ある北陽同窓会発展のため些なりとお役に立てばと存じますので、同窓会会員各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員各位のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。拙い文面でございますが、就任のご挨拶にかえさせて頂きます。（大島恒明昭和29年卒）



北陽高校野球部史出版!!



野球部総監督・監督として、30年にわたり実践指導され、甲子園選抜大会6回・選手権大会4回の出場を果された松岡英孝先生が勇退を表明されました。

ここに永年にわたる努力と栄光を称えるために野球部史を作成しました。

内容 布張り表紙B5版300頁の豪華本

・年度別の戦績・寄稿文・写真・3期に分けてのリード文・甲子園出場者による座談会他
希望者に！部数に限りがありますが、ご希望の方は郵便振込で3,000円を近くの郵便局からご送金下さい。

口座番号 大阪0-100113

加入者 北陽高校野球部史編集委員会
事務局 金沢 勇、奈良由次

平成3年度・第14回代議員総会は9月28日
(土) 新大阪ガーデンパレスにおいて開催

加茂 勉氏

平成3年9月13日呼吸不全により急逝された。
享年66才 昭和20年北陽高校卒永年に亘り兵庫県会議員として県政(副議長)に携わられ平成2年藍綬褒章を受章されている。我北陽同窓会理事として積年に亘り母校並に同窓会の発展に寄与され平成3年同窓会副会長に就任されたばかりであった。

平成2年度および3年度(8月末)事業報告

3月29日	第1回会報委員会
6月16日	新代議員に委嘱状発送
6月19日	第2回会報委員会
6月25日	第3回会報委員会
6月28日	第1回理事会
6月30日	第4回会報委員会
7月2日	第5回会報委員会
7月7日	第2回理事会
7月7日	代議員会
7月18日	会報発送
12月13日	第3回理事会

平成3年

5月9日	会計監査終了
5月11日	第1回理事会
6月6日	第1回会報委員会
7月6日	第2回理事会

理事会報告(第1回5月11日)

同窓会新役員は次の通り

副会長 加茂 勉

会 計 濱本辰巳

事務局長 大島恒明

平成二年度 北陽同窓会決算報告書

2.4.1~3.3.31

収入の部

(単位円)

科 目	予 算	決 算	摘要
前期繰り越し	11,360,245	11,360,245	
会 費	3,180,000	3,150,000	
受 取 利 息	250,000	456,408	
代議員会個人拠出金	250,000	185,000	
会 報 決 算		-105,151	
名簿売上		43,340	
合 計	15,040,245	15,089,842	

支出の部

科 目	予 算	決 算	摘要
理事代議員会議費	800,000	482,703	
学校への協力金	250,000	250,000	
入 件 費	600,000	600,000	
旅 費 交 通 費	150,000	30,000	
消 耗 品 費	50,000	1,285	
通 信 費	100,000	54,130	
印 刷 費	100,000	56,782	
備 品 費	50,000	0	
支 部 育 成 費	100,000	40,000	
慶弔費	200,000	219,320	
予 備 費	300,000	0	
次 期 繰 越	12,340,245	13,355,622	
合 計	15,040,245	15,089,842	

会報協力者氏名(敬称略)

杉谷 丸彦、小寺 恒雄、高岡 繁、寺田 賢作、
 佐藤 誠一、北秋 一、杉本 二一、三木 恵三、
 浜本 辰巳、武岡 昭夫、寺田 賢作、岩永 清治、
 中尾 晴郎、浜本 辰巳、内田二三男、福島 嘉雄、
 小宮 茂、小川 昌雄、稻野治兵衛、藤田 忠男、
 札場 治男、中田 登、松原 正、伊藤 学、
 岡本 治、小崎 章年、川口 重夫、左海 茂、
 上田 昭三、津田 健治、小森 和信、松井 義治、
 皆川 良起、牧野 雅男、十陽会有志一同(牧野)、
 鶴川 雅治、岩崎 悅治、山崎 勝巳、岩木 荣一、
 安田 啓二、浜田 康雄、新井 敏男、養老 美雄、
 百崎 和男、宇野 博之、西村 貞彦、石田 修、
 吉田 典生、吉田 健、巽 五平治、寺西 克美、
 城島 未明、塩見 克明、宇登謹次郎、高井 敏行、
 松田 理一、康村 明史、菱谷 二郎、福島 顕夫、

浅田 行雄、井上 三二、尾野 順三、山崎 忠平、
 大野 健三、松本伊三男、名村 四博、酒井 順、
 中島 光造、北島 光男、亀田 真守、味舌 十七、
 田村 利昭、森田 壽一、山下 忠男、西垣 友夫、
 岡野 弘、高木 隆雄、水利 寛文、松尾 一毅、
 北 二郎、茨木市役所北陽会、中村 宏、田中
 清、寺下陽一、小山 武、藤川 孝夫、徳本
 幸治、吉田義治、入江 蔡夫、東尾長治郎、池田
 一夫、加茂 勉、安田 恵吉、入海小夜子、釣宮
 常幸、小谷 輝夫、井上 守正、田村 章一、塙田
 半一、藤井 常夫、吉田 周次、小川 正明、橋本
 幸弘、岡 柳二、松成 友一、杉谷 丸彦、三野
 英男、栗栖 治、糸井 弘至、間 輝夫、梨木
 祐昌、西岡 達郎、藤滝 昇、吉田 勝、森本
 良彦、宮田 誠一、杉本 弘、京阪交通社、京阪
 交通社、東 朗、貴島 正秋、佐野 良晴、名
 藩代金、豊嶋 高志、山下 嘉一、下田 忠雄、伊
 吹 弘、加門 和彦、本田 彰、宮原友三郎、
 浦田 好

訃報

母校第4代校長八沢俱好氏は平成二年十二月二十三日肺炎により他界された
 享年八十八才であった

大正十五年四月一日母校教諭に就任、昭和二十三年十二月二十日退職された。昭和二十二年三月より昭和二十三年十二月二十日まで校長

○山田延一 平成2年10月24日 逝去
 北陽同窓会代議員

328-0208

○八沢俱好元校長 平成2年12月逝去
 北陽高校元校長

○中田永一 平成2年11月24日 逝去
 北陽同窓会代議員

0798-53-6383

「矢沢先生を偲んで」

昭和四年第一回卒 松村 豊
 矢沢俱好先生が昨年（平成二年十二月二十三日に亡くなられた事を私が知りましたのは年が変わってからで御座いました、その時は本当に信じられない気持ちで御座いました。従いまして告別式にもお参り致さず申訳けない事で御座いました。その後お宅へお伺いして御仏壇前にお参りさせて頂きお別れを申し上げて参りました。



その折奥様のお話では昨年十月三日に入院されたそうですが病状が悪化し十二月二十三日に肺炎にて永眠されたとの事で御座いました。私達第一回卒業生にとりましては、当時教へを受けました、かけがへのない、たった一人の貴重な先生で御座いました。誠に痛恨の極みで御座います。先生との出会い六十年も以前の事になりますが、阪急淡路駅近くに新校舎が出来上がった時に英語の先生として着任された時の様に思います。当時の印象は子供心に思った事ですが美髪が、とてもお似合いの仲々のハンサムで流暢な英語に素敵なお先生だなと思った事を思い出します。先生は本校の野球部長として当時教官の弓削先生と野球部の育成に努力されたと聞いております。本校野球部の草分けと言う事になのでしょう。当時は練習するグランドもなく大変苦労を重ねての練習だったとか。当時部員だった中尾嘉一、中井勇、宇野実、の皆さん元気でおられます。現在の野球部の活躍にどんなに感激しておられた事かと想像されます。先生に最後にお目にかかったのは平成元年六月の同窓会に御出席頂いた時でした。丁度八十八才の米寿を迎えたとの事で私達一人一人に立派な色紙を頂きました。是が唯一の思い出の記念品となりました。戦後出会いましてから短い年月で御座いましたが今日迄御指導頂いた事を忘れる事はないでしょう。最早あの温容に接する事もなく淋しくなりましたが今でも天国より頑張れーと見守って頂いてる様な気がします。先生有難う御座いました。どうか安らかにお眠り下さい。心より御冥福お祈り申し上げます

合掌

<p>昭和17年卒業 北陽商業学校第一本科 第15回卒業生同窓会（有志） 会長 北 秋 一 電話 (06) 852-5566</p>	<p>森田 昭治 (S20年卒) 元同窓会係</p>
<p>松原紙株式会社 代表取締役 松 原 正 (S18年卒) 営業所 東大阪市長田中3の168 TEL 06-746-2251 本社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>	<p>旅行のお申し込み・お問合せは 京 阪 交 通 社 修学旅行センター 東 朗 (S46年卒) 電話 (06) 228-1691</p>
<p>昭和18年卒業 北陽商業学校第一本科 第16回卒業生同窓会有志 世話人 真 壁 和 義 (一夫) 電話 (06) 321-0025</p>	<p>食料品綜合問屋 (株)左海商店 代表取締役 左 海 茂 (S6年卒) 電話 (06) 541-8301</p>
<p>土地・建物売買・仲介 宮理 マルサ開発株式会社 代表取締役 阪 本 武 治 (S37年卒) 〒564 吹田市垂水町3丁目25-25 電話 (06) 386-0015</p>	
<p>株式会社 う を 清 本店料亭・大阪市中央区北久太郎町5の18 電話 (06) 252-7300~2番 西区立堀・千里セルシ・虹のまち 新大阪駅・鴻池駅前 代表取締役 津 田 真 治 (S16年卒)</p>	

栄興電機工業株式会社

代表取締役 三 木 憲 三

(平成23年卒)

本社 〒661 尼崎市瓦宮1丁目9-15
TEL 491-5301
工場 〒564 摂津市一津屋3丁目3-14
TEL 349-2831

学校指定教科書販売店

参考書のご用命はぜひ

有限 会社 藤川隆文堂へ

東淀川区東淡路商店街
(06) 322-5759

官庁・企業・病院・学校・生協等

売店用、綜合商品卸 級

企業内福利厚生売店受託直営

商城近畿一円

心 幸 株 式 会 社

〒660 尼崎市西長洲1丁目3番20号
TEL (06) 488-5201代

第一回卒業 高 山 強

信 田 政 悅

しの だ

(米穀店)

S36年卒

吹田市垂水町3-1-36
Tel (06) 384-2190

Golf Shop ウチダ

内 田 二 三 男

(平成23年卒)

守口市桜町20-1
TEL (06) 991-1824
FAX (06) 992-0230

池 田 銀 行

西 本 太 一

〒566 摂津市庄屋2丁目2-25
TEL 06(382)-6123

株式会社 酒井金属工作所

本社工場 吹田市江坂町3丁目4番48号
電話 大阪(06)380-0016代
電話 大阪(06)380-1314番
ファックス(06)330-7719番
倉 庫 大阪市東淀川区東中島2丁目18-12
電話 大阪(06)332-7568-376番
自 宅 大阪市東淀川区東中島2丁目6番40
電話 大阪(06)322-0940

北大阪葬祭センター

中 橋 忠 彦

(S41年卒)

大阪市東淀川区大道南3-3-14
(06) 326-7124

泰和企画株式会社

代表取締役 山 本 隆 一

事務所 〒564 吹田市江坂町三丁目十七番四号
電話 ○六(三八六)二九〇三番
FAX ○六(三八六)二九〇七番
営業所 吹田市江坂町二丁目一番二十号
営業所 吹田市豊津町十四番一号

<p>北陽同窓会長 稻野治兵衛 (S10年卒)</p>	<p>濱本倉庫株 濱本辰己 (S17年卒) 電話(06) 323-6375</p>
<p>松城石油株 代表者 松城友一 (S20年卒) 電話(0726) 34-0155</p>	<p>御生菓子司 さわや 代表者 浜田康雄 (S41年卒) 電話(0726) 22-2908</p>
<p>生コンクリート・建築材料一式・屋根工事 株 豊嶋商店 代表取締役 豊嶋高志 (S41年卒) 大阪市東淀川区西淡路5-21-25 電話(06) 322-6085・0488</p>	<p>川砂、建築材料一式販売 株 三野商店 代表取締役 三野英男 (S30年卒) 吹田市南高浜町35-1 電話(06) 383-0062</p>
<p>造園・緑化・土木 札場造園 代表者 札場治男 (S18年卒) 〒565 吹田市津雲台7-5-18 電話(06) 671-0367</p>	
<p>塗装工事※看板 日本ペイント住宅塗替施工店 大阪府・吹田市指定業者 株式会社 寺田美研 吹田市高浜町4番7号 電話(06) 381-2401</p>	

北陽同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。
 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。
 第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
 1. 会報及び会員名簿の発行
 2. 総会の開催
 3. 母校の発展に寄与する事業
 4. その他必要な事項
- 第4条 (本部及び支部) 本部は本部を北陽高等学校同窓会室におく。支部は必要な地域又は職場に設けることができる。本部に事務局を置き本会の事務を処理する。
- 第2章 会員
- 第5条 本会の会員は次の通りとする。
- 正会員
 - 北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生
 - 上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者
 - 特別会員 母校の現職員並びに旧職員
 - 名誉会員 母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者

第3章 役員及び役員会

- 第6条 1. 本会に次の役員を置く。
 (1) 会長 1名 (母校の現校長)
 (2) 副会長 1名
 (3) 課会長 3名以内
 (4) 会計 2名
 (5) 監事 2名
 (6) 事務局長 1名
 事務局次長 2名
 (7) 理事 若干名
 (8) 代議員 若干名
 (9) 諸問・相談役 若干名
2. 役員の任期は3年とする。但し再任を妨げない。
 1. 会員は代議員に於いて選出される。
 2. その他の役員は会長これを委嘱する。
- (任務) 1. 会長は会務を統括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を招集するいとまなき時は、理事会の議を経て会長これを先決することができる。
 2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。
 3. 会計は会の財務を処理する。
 4. 事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会に関する事務全般を処理する。

5. 理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。
 6. 代議員会は次の事項を審議する。

(1)事業計画及び予算の承認。

(2)事業報告及び決算の承認。

7. 理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長これを決する。

8. 監事は会計を監査する。

第4章 会計

- 第9条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

- 第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。

- 第11条 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。

- 第5章 総会
- 第12条 総会は会長これを招集し代議員会をもってこれに代える事ができる。

第6章 支部

- 第13条 本会は支部を設けることができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。

第7章 会則変更

- 第14条 会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。

第8章 附則

- 第15条 その他定めなき事項は会長が理事会にはかり、これを決定する。

- 第16条 本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

兵庫県会議員

故 加茂 勉

(S20年卒)

生前の御厚情有難うございました。

〒660 川西市中央町11-15

電話 (0727) 59-8890

西島住宅設備機器専門店

西島 義晴

〒566 摂津市千里丘東4-3-18

TEL (06)-381-4391

FAX (06)-382-9813

オリエンタル酵母工業K.K.
大阪営業所 総務課

西田 和夫

TEL (06)-338-0551

FAX (06)-384-7691

旅は仕事の潤滑油
ひとりひとりを大切に旅のことなら
全国旅行業協会
大阪府支部理事

北港ツーリスト

代表者 福島 嘉雄 (S26年卒)

電話 06-329-1517 329-4416

高級純日本酒



大阪府茨木市玉櫛1-1-8
電話 (0726) 32-2277

万両酒造株式会社

社長 藤井 文太郎
(旧名 信雄)
(昭和14年卒業)